

第47回 内部地区文化祭

- ◆日時 平成27年11月1日(日)
午前9時30分～午後3時
- ◆会場 内部小学校
(体育館・運動場・図工室)

予告

作品展示・舞台発表・催し物 参加者募集

◆募集内容

【作品展示】手芸・工芸品・押し花・生花・写真・絵画(30号まで)・盆栽・収集品(展示可能なもの)・書道(半折まで。ただし、子供書道は小学4年生以上とし、大きさはB4まで)

- ☆作品は原則として一人一点とさせていただきます
- ☆搬入：10月31日(土)午後1時～午後2時(会場へ)
- ☆搬出：11月1日(日)午後3時～午後4時(当日中に搬出)

【舞台発表】舞踊・演奏・歌唱・詠唱・その他
☆発表時間10分

【催し物】バザー・展示・ゲーム・食べ物コーナー・その他

皆様のご参加・ご来場をお待ちしています



家族、知人・友人、近所の人
地域みんなが集い
絆を深め、次の世代に繋げる
内部地区文化祭



77名の部員が一生懸命演奏する生の迫力
1時間の熱演をぜひお楽しみください



各団体展示ブース

- 人権教育推進協議会
- 明るい選挙推進協議会
- うつべ町かど博物館
- 聖母の家学園
- わかたけ萩の里
- うねめの里



◆申し込み

申し込み書は内部地区団体事務局に用意しています。
☆申し込み締切日：8月21日(金)
☆受付：平日9時～15時(ただし11:30～12:30は不在)
☆問い合わせ先：内部地区団体事務局TEL347-1224

◆参加者打ち合わせ会議

を下記のとおり行います。
申込者は必ずご出席ください。
グループの場合は代表者の方がご出席ください。
☆作品展示打合せ会議：9月1日(火)午後6時より
☆舞台発表打合せ会議：9月1日(火)午後6時30分より
☆場 所：内部地区市民センター本館1階大会議室

- ◆参加された方には、記念品を進呈いたします。
- ◆舞台発表の順番や時間は全体の進行状況などにより調整させていただきます。
- ◆作品の展示場所につきましては文化祭実行委員にご一任願います。
- ◆ゴミは各自でお持ち帰りください。

4/1 近鉄内部線から四日市あすなろう鉄道



「近鉄内部・八王子線」が4月1日(水)から「四日市あすなろう鉄道」に移管してスタートし、内部駅では1日初発列車出発式が行われました。4日(土)には近鉄四日市駅前広場で四日市あすなろう鉄道のオープニングセレモニーが開かれ、高校生ほか関係者がテープカットしました。

4/10 内部の花「すいせん」の写真コンテスト

昨年に引き続き「内部の花すいせんを育てる会」による写真コンテストが行われ、受賞作品が市民センター他で展示されました。同会では年間を通じて花壇作り、花壇の手入れ、球根の管理などの活動のほか、文化祭等で球根の配布も行っています。



5/9 あすなろう鉄道に乗って内部地区を探



NPO四日市案内人協会の約40人が内部の名産と史跡名所を訪ねました。探訪コースは、あすなろう鉄道内部駅を出発・終点として、采女城跡前→貝家町上品寺と市有形文化財釈迦如来像→北小松町の堀製麺(試食)→貝家町上杉さんのトマト農園→南小松町の中山寺と市指定天然記念物のモッコクの巨樹まで。

5/14 「よっかいち・はつらつ健康塾！」開催

内部地区市民センターにおいて「よっかいち・はつらつ健康塾！」が開催され、20名が参加。四日市市南地域包括支援センターの高山さんから「腰痛と腰痛対策について」を学び、ヘルスリーダーの近藤さん、岡野さんの指導による「お達人ストレッチ(椅子編)」「なぞなぞ」「じゃんけんゲーム」などに挑戦しました。



5/9 平成27年度 内部地区社会福祉協議会総会



「育もう内部の絆」

5月9日(土)内部地区市民センターにおいて63名の委員が出席して平成27年度の内部地区社会福祉協議会総会が開かれ、須藤会長から次の挨拶がありました。

「昨年は社協の主たる資金供給先である『地域社会づくり推進協議会』を『まちづくり推進協議会(会長原田禮嘉連合自治会長)』と名称を変更、また委員構成も変更して内部地区全体の方向性を検討する団体として機能するよう位置づけました。地区社協はまちづくり推進協議会の承認のもと資金を有効活用し、各事業を行っていきます。

両協議会の連帯を強化し、社会福祉・社会教育に関する住民意識を高め、多くの住民参加による誰もが安心して暮らすことのできる町づくりを目指します」

5/16 歴史講演会「三重の城～その特徴と見所」



采女城跡保存会が主催する歴史講演会が開かれ、講師の伊藤徳也先生は「三重の城～その特徴と見所」と題して、志摩・南伊勢、東紀州、奥伊勢・松阪の城についてその特徴と北勢地方との違いなど実地に調べた具体的な話をされました。

四日市市内に残る大規模な城は保々西城型と采女城型の2タイプに分けられ、采女城と同じ型であった伊坂城跡が新名神高速道路工事で消滅した今となっては、采女城跡は極めて重要な意味を持つようになったこと、保存会の今後の活動に期待したいと話されました

5/16 采女 田植え体験会

采女町の田んぼで田植え体験会が開かれ、大人から子ども約70名が参加しました。収穫した餅米は12月の餅つき大会で使用します。この催しは平成23年から荒廃農地や遊休農地、休耕田を借りて農業を始めた采女町の上さんが運営する「うねめ未来へつなぐ会」が主催しました。



5/22 ボランティアが地区市民センター周辺清掃



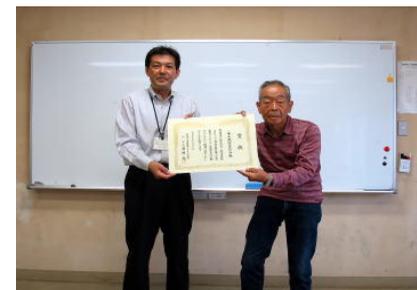
日頃内部地区市民センターを利用している連合自治会・地区社協・長寿会・婦人会・民生委員・婦人会・PTA・うつべ☆スター・采女城跡保存会・エコかわせみから19名がセンター周辺の除草と清掃を行いました。

5/27 内部交番へ花を植え替え・寄贈

県立四日市農芸高校環境造園科と采女が丘自治会グリーンパトロールが、内部交番玄関前の花の植え替えを行い、またマリーゴールド等の花を寄贈しました。



6/5 采女城跡保存会が地域美化活動で表彰



全国森林レクリエーション協会(会長三浦雄一郎)が行う第27回森林レクリエーション地域美化活動コンクールにおいて推薦34団体の中から采女城跡保存会が優秀と認められ、協会会長賞を受賞しました。

6/7 ほたる観察会(采女が丘)

内部ほたるの里を育てる会では毎年6月上旬から中旬にかけて、各地区自治会・子ども会と共同ではたる観察会を開催しています。采女が丘では70名が参加し、菅原神社方面へ向かう道路そばの田んぼを飛ぶたくさんのほたるを観察しました。

観察会はこの他、南小松町(6/6)・北小松町(6/12)・采女中部(6/12)・波木(6/13)でも行われました。

